

太宰府市歴史的風致維持向上計画 —概要版—

九州全体を治め「遠の朝廷」と呼ばれた大宰府が置かれて以来、太宰府は今日に至るまで1350年もの悠久の歴史を刻んできました。本市には、その歴史を偲ぼせる大宰府跡、水城跡、大野城跡などの遺跡群や観世音寺や太宰府天満宮をはじめ由緒ある社寺が数多くあり続けています。その中では、歴史と伝統を反映した人々の暮らしや風習、祭事などの伝統行事が営まれています。これらが一体となって太宰府らしい風情がたちあられ、本市の歴史的風致を形成しています。

本計画は、これら太宰府の歴史的風致を維持向上させ「歴史とみどり豊かな文化のまち」の実現を図ることを目的として策定しました。

平成 22 年 11 月 太宰府市



※本計画の計画期間は平成 22 年～令和 4 年の 13 年間です。

本計画の役割

本市の歴史的風致を構成する遺跡や社寺などの歴史的建造物や天満宮門前のまちなみ、また長年に渡って地域に根付いているまつりなどの伝統行事や風習、生業は大宰府の貴重な財産であり、後世に継承していくべきものです。

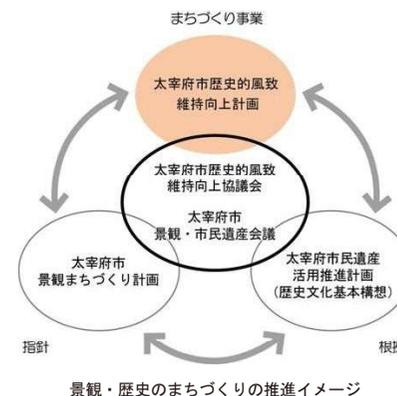
しかしながら近年の歴史的風致を取り巻く環境は、太宰府らしい町屋などの歴史的建造物の減少、風情を失わせる市街地環境の変化、伝統行事や伝統文化の担い手の減少、歴史的風致に対する人々の関心の低下などにより、歴史的風致が徐々に失われつつあるのが現状です。

本計画では、これらの課題を解消するために、良好な市街地環境の保全創出や歴史的建造物の保存・活用を図るなどの施策を実施し、太宰府の歴史的風致の維持向上を目指します。

また、「太宰府市景観まちづくり計画」、「太宰府市民遺産活用推進計画」との連携のもと、景観・歴史のまちづくりを推進します。

◆歴史的風致とは

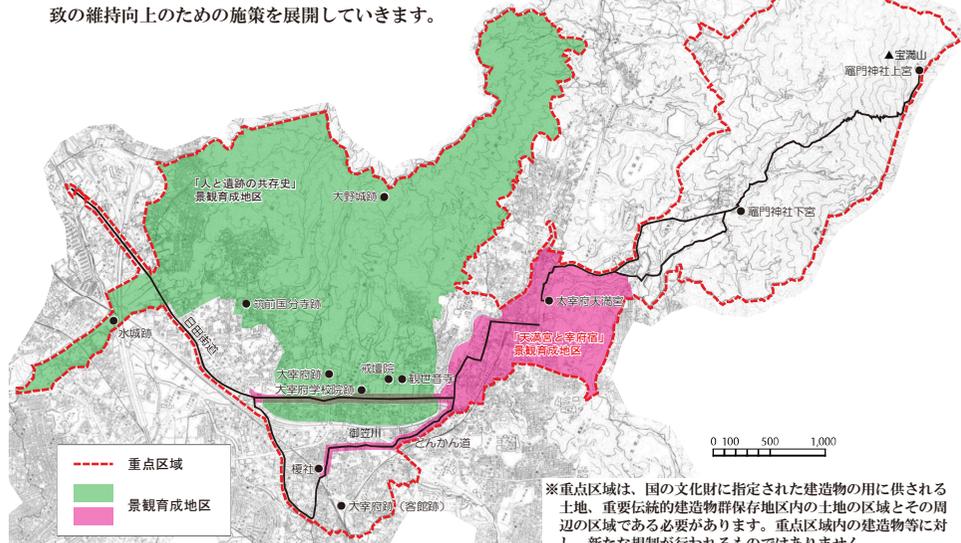
「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」（通称：歴史まちづくり法、平成 20 年施行）では「歴史的風致」を「地域におけるその固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動とその活動が行われる歴史上価値の高い建造物及びその周辺の市街地とが一体となって形成してきた良好な市街地の環境」（第 1 条）と定義し、ソフトとしての人々の活動、ハードとしての建造物とを合わせたものとしています。



重点区域の範囲

重点区域の名称と面積
太宰府市歴史的風致維持向上地区 約1,394ha

本計画では、太宰府天満宮と門前を顔とするさいふまいるの人々が集う旧宰府宿やさいふまいるの沿道、さらには大宰府跡、宝満山など、大宰府関連史跡群を顔とする史跡のあるまちとしての歴史的環境が含まれる範囲を重点区域に設定し、歴史的風致の維持向上のための施策を展開していきます。



※重点区域は、国の文化財に指定された建造物の用に供される土地、重要伝統的建造物群保存地区内の土地の区域とその周辺の区域である必要があります。重点区域内の建造物等に対し、新たな規制が行われるものではありません。

重点区域における主な施策・事業

【歴史的建造物の保存修理】

天満宮門前の伝統家屋や市内に点在する歴史的建造物など太宰府の歴史的風致を形成している建造物の修理に助成を行います。



【大宰府跡の整備】

特別史跡大宰府跡や、新たに見つかった客館跡の史跡地環境の整備を実施し、歴史的風致の維持向上を図ります。



【水城跡・大野城跡の整備】

さいふまいるにおける歴史的風致の維持向上を図るため、水城跡・大野城跡に必要な修理や環境整備を実施します。



【四王寺山周辺の環境整備】

四王寺山の市民の森などを中心に竹木伐採による緑地整備や休憩施設などの修理、設置を行い、歴史的風致の周辺環境の改善を図ります。



【歴史的通りのサイン整備】

神幸行列が通るどんかん道や日田街道などにおいて、歴史的通りと認識できるサイン整備や解説板の設置などを行います。



【宝満山の整備】

史跡宝満山を取り巻く歴史的環境の改善を図り、修験の山としての歴史的風致の維持向上を図ります。



【無形の文化財の記録作成】

無形文化財や無形民俗文化財についての調査や記録を行い、地域の伝統文化伝承への意識向上や担い手の育成などを行います。



【歴史的景観の修景】

旧宰府宿や旧街道沿い、さらには史跡地環境内における歴史的景観を取り戻すための修景補助を実施します。



本計画に関するお問い合わせ
太宰府市 都市整備部 都市計画課 景観・歴史のまち推進係
TEL 092-921-2121 / FAX 092-928-7415
E-mail urban-planning@city.dazaifu.lg.jp

太宰府天満宮門前の生活にみる歴史的風致

天満宮の門前には、江戸時代から続く歴史的建造物が残り、名物となっている梅ヶ枝餅をはじめ、参詣者をもてなす生業が続いています。また、恵比寿まつりや県指定無形文化財の鬼すべなど生活の中に伝統が受け継がれています。



梅ヶ枝餅丸め



木うろ製作風景



恵比寿



鬼すべ

梅に関する歴史的風致

「万葉集」にある梅花の宴、菅原道真にまつわる飛梅伝説など梅との縁は深く、江戸時代以降、梅を天満宮に献上し、植え、愛でる習慣は、厄除けの梅あげや市内至る所への植樹に引き継がれています。



天満宮神苑での観梅

観世音寺の「除夜の鐘」にみる歴史的風致

観世音寺の除夜の鐘は寒い中、人々が静かに集まり、国宝に指定されている梵鐘をひと打ちづつ撞いていきます。古代の人々も聞いた音色が、現代も観世音寺など歴史的建造物の間に響きます。



大晦日の観世音寺鐘楼

農耕に関わる祭事にみる歴史的風致

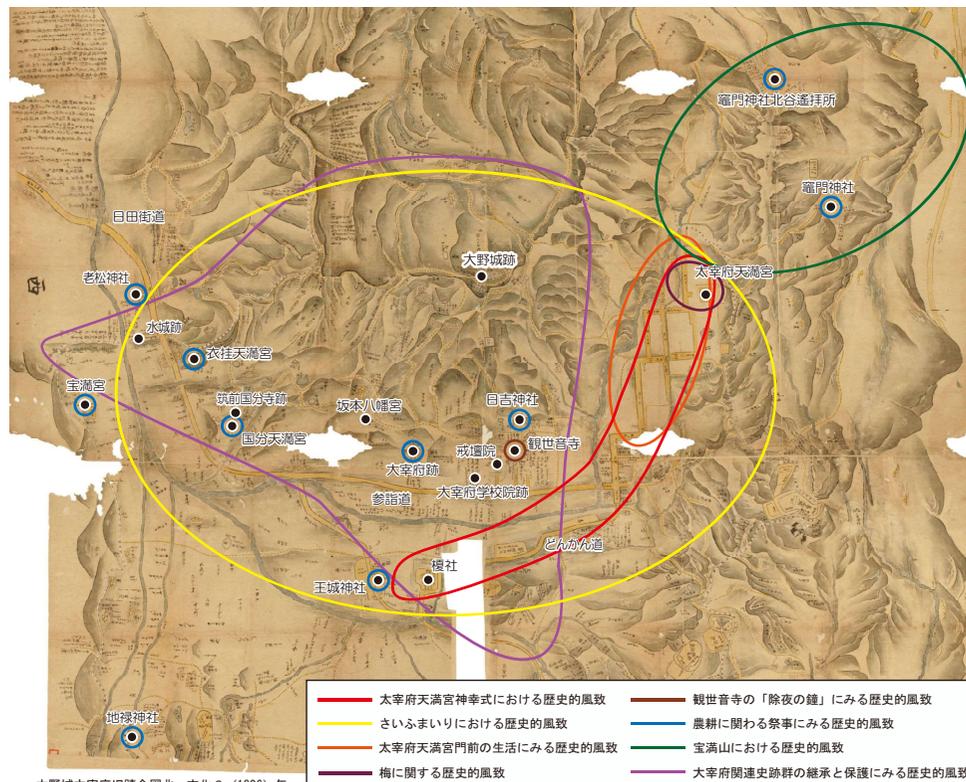
農耕に関わる祭事は、太宰府が農村であったことを示しています。現在でも地域の神社で春籠りから神迎えが年間を通して行われ、派手ではないが素朴な行事が地域ごとに受け継がれています。



春籠り



宮座



大野城太宰府旧蹟全図北一文化3 (1806)年

- 太宰府天満宮神幸式における歴史的風致
- さいふまいりにおける歴史的風致
- 太宰府天満宮門前の生活にみる歴史的風致
- 梅に関する歴史的風致
- 観世音寺の「除夜の鐘」にみる歴史的風致
- 農耕に関わる祭事にみる歴史的風致
- 宝満山における歴史的風致
- 大宰府関連史跡群の継承と保護にみる歴史的風致

歴史的風致の維持及び向上に関する方針

- ◆歴史的風致を構成する建造物の保存と活用の推進

文化財として価値のある建造物については、文化財保護法等に基づき適切な保護措置を講じていきます。歴史的風致を構成している未指定の建造物については、歴史的風致形成建造物の指定により、滅失の防止や修理などに対する支援策を講じます。
- ◆歴史的風致を活用したまちづくりの推進

歴史的な通りの沿道や門前については、日常的に歴史的風致を実感できる市街地環境の実現を目指し、歴史的町並みに調和した沿道景観の形成に努めます。また安全、快適に散策できる歩行者空間の整備や歴史的建造物などへの案内、解説板の設置を推進し回遊性の高い歩行者ネットワークの形成を図ります。
- ◆歴史と伝統を反映した人々の活動への支援

祭事などの歴史と伝統を反映した活動については、実態調査を実施し維持継承のために必要な支援を検討します。その際は、市民やNPOなど伝統文化の保存継承に取り組む団体と連携協力していきます。
- ◆歴史的風致の認識を高める取り組みの推進

歴史的建造物や伝統行事に関する市民一人一人の認識を深め愛情を育むために、普及啓発に努めるとともに、太宰府市民遺産の取り組みを推進していきます。
- ◆市民活動と連動した環境整備、施設整備

史跡の継承活動は、官民一体となって進めます。そのため、市民活動と連動し、活動の利便性確保を視野にいて、環境整備、施設整備を行います。

太宰府天満宮神幸式における歴史的風致

平安時代より続く神幸式は、太宰府天満宮から古代の大宰府条坊を引き継ぐ街路と菅原道真の配所である府の南館跡とされる櫻社を舞台に行われます。県の無形民俗文化財に指定されています。



神幸行列〈浮屋に入る神輿〉



神幸行列〈竹の曲〉

さいふまいりにおける歴史的風致

さいふまいりは、江戸時代に太宰府参詣とともに周辺の名所旧跡を巡る遊山を兼ねた風習で、太宰府天満宮のほか、都府楼跡(大宰府跡)、水城跡や歌枕などを訪ねる伝統が続いています。



天満宮参道



戒壇院

宝満山における歴史的風致

宝満山は古代より信仰される太宰府の重要なシンボルです。竈門神社下宮から上宮で行われる峰入りや大護摩供などの中世以来の修験儀式は現代に伝えられる伝統行事です。



宝満山と竈門神社



大護摩供

大宰府関連史跡群の継承と保護にみる歴史的風致

大宰府関連史跡群は、太宰府に住む人々によって保護継承されてきた遺跡です。顕彰碑の建立、郷土読本による普及、都府楼跡(政庁跡)での行事の開催などにより、太宰府の先人たちが史跡群を大切にしていた思いが受け継がれています。



水城大堤之碑



史跡を伝える活動